

株式会社釜石電機製作所

岩手県釜石市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

「釜電 (KKD) は、豊かな Know-how で Knowledge を活かし Distance は技術でカバー」をモットーとする

- 溶射による保守技術の向上と光触媒浄化技術への展開、ならびに新製品の開発
- 各種研究機関との連携による二酸化チタンの固定化技術の開発とその評価
- 地域の伝統的工芸品「岩谷堂筆筒」と連携し、光触媒空気清浄装置を開発

企業基本情報

所在地	岩手県釜石市甲子町第9地割171-4
電話/FAX	0193-21-1751/0193-21-1752
URL	http://www.e-kamaden.co.jp
代表者	代表取締役 佐藤 一彦
設立	1949年
資本金	2,000万円
従業員数	23人



会社概要

同社は大手鉄鋼メーカーの協力会社として創業し、設備機器の修理・保守を主たる事業としてきた。また、溶射技術を発展させた光触媒材料と装置の製造・販売と、受託溶射加工・モーター用コイル製作などの事業を行っている。震災時には津波で被災したモーター等の脱塩処理に卓越した技術を発揮し、各地の工場施設、発電所、水産加工場、などの早期復旧に大きく貢献した。



会社施設

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

溶射による保守技術の向上と光触媒浄化技術への展開

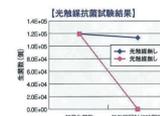
同社は、摩耗したモータやポンプ等の主軸の保守のために1977年に溶射設備を導入し、1994年に表面処理用の溶射設備の導入を行った。これらの設備の導入により、摩耗した金属の肉盛りだけでなくの表面の耐摩耗、耐腐食の加工が可能となり、整備の迅速化と品質の向上を達成した。さらに、この溶射技術を活かした高い光触媒活性を有する皮膜製膜技術を開発し特許取得をするとともに各種の高性能光触媒製品の上市を行っている。



光触媒空気抗菌装置

各種研究機関との連携による二酸化チタンの固定化技術の開発

開発した光触媒溶射技術は、プレート表面が高い光活性を持つTiO₂のみで被覆されているため、他の固定化技術に比較し光触媒の活性が著しく大きい。光触媒による分解性能は、各種研究機関により抗菌効果やアセトアルデヒドなどの分解性能から評価する一方で、畜舎での実証試験により、幼牛の罹病の減少、発育増進が著しいことが実証された。製膜技術は岩手県公設研との連携で開発され、性能評価や畜舎空気環境改善効果は産業技術総合研究所等の各種研究機関との連携により行われた。



光触媒プレートと抗菌試験結果

地域の伝統的工芸品と連携した製品づくり

同社は、経済産業大臣指定伝統的工芸品として指定を受けている岩手県の「岩谷堂筆筒」と提携し、同筆筒の技術とデザインを筐体に活かした高齢者施設・幼児施設向けの光触媒空気清浄装置を製品化している。特に、岩手県の森林資源を活用するとともに、自然豊かな岩手県から発信する製品として、宮沢賢治が好んだエスペラント語にちなんで、光触媒製品を「風の家」のエスペラント語風に「カザノイア」と命名した。



製品紹介パンフレット